

早稲田大学(教育)



インターTOMAS荻窪スクール

桑原 芙佳さん 【光塩女子学院高等科】

桑原さんからのMessage

Where there is a will,
there is a way!

入会時の課題

英検準1級を取得したいと思っていたが、リスニングで得点することができず、その力をさらに伸ばしたかった。

こうやって解決!

同じ問題を、スクリプトを覚えるくらいに何回も聞き、スクリプトを音読しながらわからない単語も調べて克服。

受験DATA

・早稲田大学(教育)	合格
・明治大学(国際日本)	合格
・法政大学(国際文化)	合格

英語資格取得DATA

高2	英検準1級合格
高3	TEAP 322点

指導のポイント

英検などの資格勉強を通して
受験でも通用するスキルを磨いた



西村 展和 先生

高2で英検準1級合格を目標に掲げるなど、早め早めに取りれる資格を押さえておくことで、その後の受験をうまく乗り切れることを何度も話し、モチベーションにつなげました。英検やTEAPの学習を通して、ライティングの精度が非常によくくなりました。

英検などの資格対策を通じてライティング力が向上

私は高1のときにインターTOMASに入会しました。弟の友人がインターTOMASに通っていて、小学生なのに英検に合格している姿を見て、私もインターTOMASで学びたいと思ったのでした。

入会当初は、大学受験を考えたときに、英語が武器になると聞いたことがあったので、まずは英検準1級を取得したいと思いました。しかし、リスニングが難しく合格は容易ではないことを思い知り、インターTOMASでその課題を克服すべく学習を進めました。

同じリスニングの問題を、スクリプトを覚えるくらいに何回も聞き、その後はスクリプトを音読してわからない単語も調べました。何度もやることで、自分のなかで解き方や聞くときの気をつけるポイントを意識できるようになり、苦手なパートも答えられるようになりました。

また、ライティングの書き方の型を教えてもらい、そ

の後は自分で文章を書きやすくなりました。週に3本書くことを目標に決めて実行し、ライティングが得点源になり、TEAPを受けた際にはライティングは高得点(97点/100点中)を取ることができ、高3の春には、上智大学出願に必要なTEAPスコアを達成することができました。高3の夏からは、早稲田大学の英語対策を本格的に始めました。

後輩たちにおすすめの英語勉強法は、『Next Stage 英文法・語法問題』の苦手な文法のパートに付箋をつけて、それを夜に確認してから寝るによることです。記憶は寝ている間に定着するので、効率的な学習法だと思います。実際に私は受験問題の文法パートでつまずくことはなかったです。

今後もコミュニケーションで使える英語に磨きをかけ、就職にも役立てたいと思っています。